

● 広報

2026
6
No. 860



白い森を照らす “おしどりさん” ②

大友拓磨さん・^{あい}歩惟さん夫妻（小国町）は、長男の^{すばる}昂さんと次男の^{りん}凜さんとともに同じアパートに住んでいるかたとのラジオ体操や夏祭りなどの交流を楽しみながら生活しています。

拓磨さんは町外の出身で、結婚を機に歩惟さんの地元である小国町に移住しました。お二人は「子育て支援の制度が夫の出身地より充実していたことも、小国で暮らす一つの理由になりました。これからもお祭りなどの地域行事への参加や住民のかたとのコミュニケーションを家族全員で楽しみたいと思っています。」と小国で過ごす日々様子を笑顔で話してくださいました。

第6次小国町総合計画 を策定しました。 ～計画策定の目的と経過～

町ではこのたび、2035年を目標年次として、中長期的なまちづくりの指針となる「第6次小国町総合計画」を策定しました。策定にあたっては、町民のかたの声を聴き、計画に反映することで、町民とともに作りあげるまちづくりを目指しています。今回は、本計画の策定の目的をあらためて確認するとともに、その経過について紹介しながら、総合計画の重要性をお知らせします。

特集 第6次小国町総合計画を策定しました。 ～計画策定の目的と経過～

総合計画策定の目的

本町では、平成31年3月に「自然を愉しみみんながわくわくする白い森の国おぐに」を目指すべき姿とする「第5次小国町総合計画」を策定し、その実現に向け、『白い森の国を担う「人」づくり』『白い森の魅力を磨く「環境」づくり』『白い森を舞台とする生き活きとした「暮らし」づくり』『持続的な行財政運営』の4つの柱に沿い、施策を展開してきました。

一方で、少子高齢化や人口減少の急速な進行をはじめ、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う生活様式の変化、激甚化・頻発化する自然災害、情報通信技術や人工知能の進化、若者を中心とする田園回帰志向の高まりなど、自治体を取り巻く環境は大きく変容しています。令和7年度に第5次小国町総合計画の目標年次を迎えたことから、現在の社会構造の変化を的確に捉えながら、諸課題を整理し、持続的、自立的なまちづくりを進めていくために、昨年度、新たな計画となる「第6次小国町総合計画」を策定しました。



▲コロナ禍は自治体を取りまく環境の大きな変容をもたらした

「第6次小国町総合計画」は、2035年度を目標年次とする、中長期的な視点に基づいてまちづくりを進めるための指針であります。本計画については、町の将来像を明らかにし、その実現に向けた基本理念や目標などを示した「基本構想」と、それに基づく施策を計画的、効率的に実施するため具体的な事業を取りまとめた「基本計画」によって構成されています。一方、町で定める計画ではありませんが、まちづくりの方向性を示す重要な指針であるため、町民のかたや地域とともに、「これからどのような小国町を目指すのか」という目標を共有するものでもあります。また、町が抱える課題は、様々な要素が複雑に絡み合いながら顕在化しているのが現状です。こうした課題を計画の中で整理し、どのように解決していくのかを明確化することにより、適切な予算の執行と計画的なまちづくりの展開を図るためのものとしても大きな役割を果たしています。総合計画は、目標年次を10年間としています。10年という期間を設けている理由とし



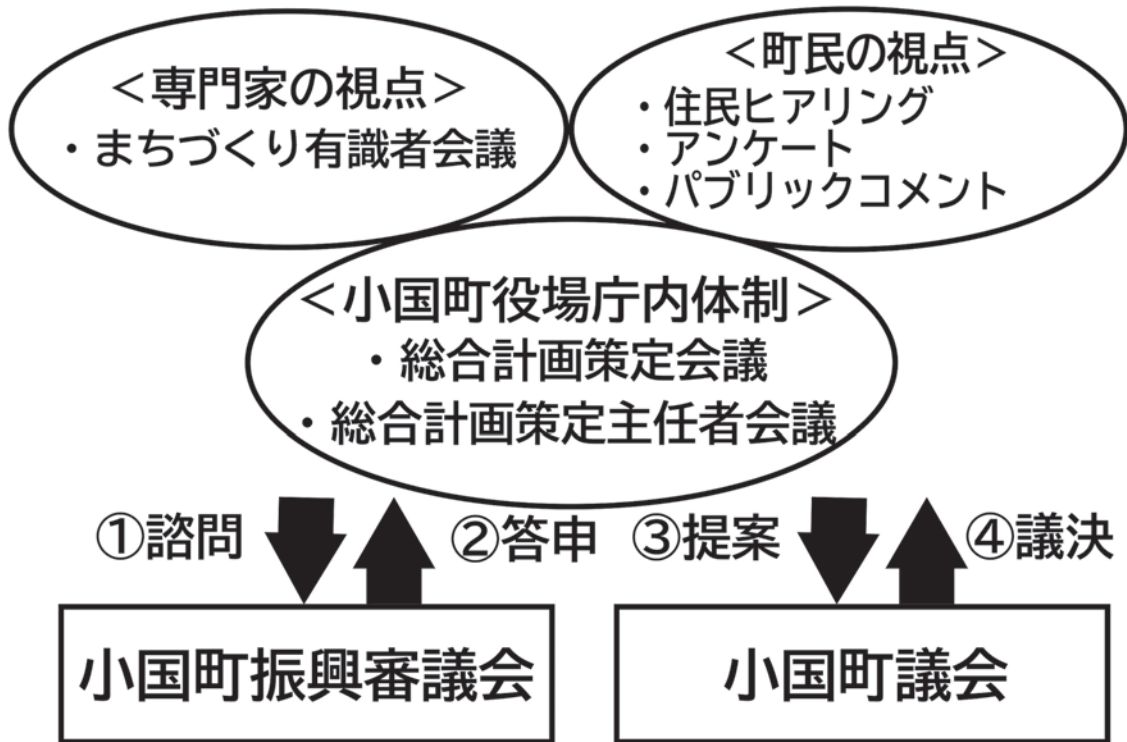
▲振興審議会では様々な視点からの意見共有が図られた

では、課題解決を計画的に進めるための基盤として総合計画を位置づけていることや、事業等が持続可能性を持って行われることで、長期的な視点でまちづくりを進めることができるという点もあげられます。

策定の経過

「第6次小国町総合計画」の策定にあたっては、庁内の組織である小国町総合計画策定会議及び策定主任者会

「第6次小国町総合計画（基本構想）」の策定体制



▲成人式の参加者に対して行ったヒアリングの様子

議において素案の作成を行いました。また、町民の各分野の代表に参画いただく小国町振興審議会を開催し、審議会への諮問、審議を経たうえで答申を受けました。このほか、計画案の策定における、有識者による指導組織として、多角的な視点で計画策定全体にわたって指導・助言をいただくまちづくり有識者会議での議論をはじめ、地域サロンに参加した町民のかたや、成人式に参加した若者などに対しての町の課

題や目指すべき方向性についてのヒアリング、中高生や子育て世代のかた、町内企業にお勤めのかたへのアンケート、町民の方の意見を広く求めるためのパブリックコメントを行い、幅広い視点から計画を策定する体制を構築しました。こうした経過を経て作成した基本構想案については、昨年12月定例会の議決を経て正式に決定しました。

小国町振興審議会の委員として提言いただいた白百合保育園の木村恵園長は「福祉や子育ての面から町の姿をかえりみた時に、行政や福祉施設などの組織ごとに役割が線引きされて、制度や取り組みなどの目的が一致していないのではと感じることがありました。とりわけ、子育ての施策についてはより関係機関が一体となって進めていく必要があると考え、振興審議会の場で5歳児

特集 第6次小国町総合計画を策定しました。 ～計画策定の目的と経過～

の健診の必要性について提案をしました。こうした経緯があり、今年度から5歳児健診の制度が始まったことは、現場や実際に子育てに携わるかたの声を総合計画という形で示した結果ではないかと思えます。これからも、総合計画をもとに、こうした垣根を越えた連携を様々な分野で実現していくことを期待しています。」と計画策定の経緯と施策への反映についてお話いただきました。また、振興審議会及びまちづくり有識者会議において提言をいただいた法政大学現



▲白百合保育園の木村恵園長

代福祉学部の関司直也教授は「振興審議会では、様々な分野に関わる皆さんから町内の現場目線で、また、まちづくり有識者会議では、全国各地や都市部の動きも見据えた客観的な視点で様々なコメントが寄せられました。そこでの議論を受けた今回の総合計画の大きな特徴は、町内外のかたがまちづくりに関わり、一体となって取り組みを考えていく人材としての『協働人口』の位置づけにあると思えます。その具体化に向けて、総合計画では『地域の暮らしを守る視点』と『地域の枠を超えて活力を取り込む視点』の2つの視点から政策を体系的に整理し、目標設定もなされています。人口減少、少子高齢化に伴う課題に直面しながらも、小国町の前向きな姿勢は大きな強みであり、第6次総合計画のひとつひとつの施策が前進し、町民全体でその手応え

第6次総合計画では、「みんなで未来を描こう 白いキャンバスに みんなで暮らそう 彩りゆたかな白い森で」を10年後に実現したい将来像として示しています。その実現に向け、本年度から整理した町の現状と課題を解決していくために、取り組むべきことを町民のかたと共有しながら、具体的な事業を進めてまいります。

計画の実行



▲法政大学現代福祉学部関司直也教授

が実感できることを願っています。」と総合計画への期待についてお話いただきました。

第6次小国町総合計画説明会を開催します

様々な世代の町民のかたへのアンケートやヒアリングをいただき策定した第6次小国町総合計画の詳しい内容について、各地域や団体の皆さまに説明する場を設けたいと考えておりますので、お気軽にお問い合わせください。

■対象団体

各地区の自治会、婦人会、老人会、スポーツ・文化団体などで、話し合いにより、交流と理解を深め、まちづくりに積極的に参加する団体

■問合せ先 総務企画課 政策企画担当 (☎ 62-2264) へ



クアーズテックアースウィーク 清掃をとおして環境問題を考える

4月23日、クアーズテック合同会社小国事業所による町中心部の清掃が行われ、約40人の従業員が参加しました。

この取り組みは、4月22日の国際マザーアース・デーにあわせてクアーズテックグループ全体で実施されるアースウィークの一環として実施されたもので、今年度で4回目の活動となりました。

参加した従業員は、各班に分かれて中心部各所に移動しながら、道路脇や施設周辺に捨てられたゴミ等を丁寧に拾っていました。



「小玉川熊まつり」開催 歴史と伝統を受け継ぎ伝える

小玉川熊まつりが5月4日に小玉川地区の飯豊温泉梅花皮荘周辺で行われました。

当日は、雨が降る中町内外から多くのかたが来場し、会場では実際の熊狩りの様子を再現した模擬実演や、熊や飯豊の山の神に感謝する神事などが行われ、地区に受け継がれる歴史と伝統が披露されました。

また、毎年恒例の「勢子大会」では、参加したかたが対岸のマタギに対し思い思いの言葉を叫び、会場は大きな盛り上がりを見せていました。



▲勢子大会でマタギに向かって大声で叫ぶ

令和8年度小国町スポーツ少年団本部 入団式・前期体力テストを実施

小国町スポーツ少年団本部主催の入団式および前期体力テストが、5月9日に小国小学校体育館を会場に行われ、所属する各団から64人の団員が参加しました。

入団式が行われたのち、前期体力テストでは、参加した団員たちが腕立伏せや立ち幅跳び、シャトルランなど計5種目のテストに真剣に取り組んでいました。

昨年の体力テストに参加した団員は前回の記録と今回の結果を比べ、自身の成長を感じていました。



小国町赤十字奉仕団 春の国道清掃 きれいな国道 113 号に

町内の環境保全活動の一環として、小国町赤十字奉仕団（五十嵐秀子委員長）が、5月11日に春の国道清掃を行いました。国道113号の間瀬パーキングから新潟県境までの区間を2班に分かれ、団員11人がゴミ袋32袋分の廃棄物を回収しました。

小国町赤十字奉仕団では、国道清掃をはじめ献血推進活動等のボランティア活動を行っており、現在団員を募集しています。奉仕団活動にご興味があるかたは、事務局（健康福祉課福祉担当 ☎61-1000）までお気軽にお問い合わせください。



▲国道沿いパーキングでの清掃の様子

白百合保育園クマ対策避難訓練 身近にせまる危険から身を守るために

5月14日に、白百合保育園においてクマ対策避難訓練が行われました。

当日は、小国町猟友会の遠藤春男会長よりクマの生態や実際にクマに遭遇した場合の対処について講話があったのち、実際にクマのはく製を使って、園児たちが散歩中にクマに遭遇した場面を想定した避難訓練が行われました。園児たちは緊張した様子を見せながらも、学んだことを確認しながら、訓練に参加していました。



▲クマに遭遇した場合を想定して行われた訓練の様子

白い森芸術・文化ふれあい事業 芸術鑑賞教室 和太鼓の迫力を間近で触れる

町内の小中学生及び小国高校生の芸術鑑賞教室として実施される白い森芸術・文化ふれあい事業が5月18日、町民総合体育館で開催され、和太鼓グループ彩による和楽器演奏パフォーマンスが行われました。公演では、和太鼓の力強い演奏やコミカルなパフォーマンスのほか、児童生徒による和太鼓体験が行われ、体験に参加した生徒は「和太鼓の音が振動として体に伝わり、実際に演奏している感覚を知ることができた」と感想を話していました。



挑め、ともに！

小国高校魅力化通信 54

全校ファシリテーション研修

5月19日、小国高校体育館で、全校ファシリテーション研修が行われました。

研修では、東北芸術工科大学の西直人先生ら講師陣をお招きし、全校生徒と教職員でコミュニケーションの基本や、ファシリテーションの意義、手法について学びました。

コミュニケーションのキーワードは「YES, AND」。“YES”で相手の意見を受け止めて、“AND”でアイデアを広げていく考え方です。生徒たちはコミュニケーションにおける「聞き方」の重要性を実感した様子でした。

生徒の声

「ファシリテーション研修を通して『反応』の大切さに気付きました。反応がないと自分が聞きたいことも聞けず、相手に伝わっているかわかりません。今後、グループワークやワークショップなどの機会に、この研修で学んだことを思い出して話し合いに生かしたいと思います。」



「初めてファシリテーションに触れ、わからないことも多くありましたが、学びの多い時間でした。“YES, AND”を心がけることで自分の考えが言いやすくなり、円滑に「コミュニケーション」を取る事ができました。小国高校では『もりたん』や『サミット』など実践の機会も多いため、この研修を生かしたいです。」

協力隊通信

series 116

「あらためて『地域おこし協力隊』とは」

地域おこし協力隊 中村 史龍^{しりゅう}

地域おこし協力隊とは、総務省によれば「地域活力活動」を行いながら、その地域への定住や関係人口創出を図るための制度です。令和7年度には全国1000を超える自治体で約8000人が活動し、定住率は7割ほどとなっています。地域おこし協力隊は、それぞれ「この地域の、この仕事」というものを選んで応募しています。

数年前までは10人近くいた小国の協力隊も今年度は私を含め2人となり、とても寂しく思います。私の残りの任期も少なくなりましたが、町の活性化の一助になれるよう活動し、新しい協力隊募集のお手伝いもしていけたらと思います。



令和8年 第4回 小国町議会臨時会

令和8年第4回臨時会が4月27日に開催されました。令和8年度一般会計補正予算や条例改正などが審議され、全て原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に1442万4千円を追加
総務費、民生費、商工費において、各事業に要する費用等を追加し、補正後の予算総額は、66億1442万4千円となりました。

大学や企業との協働による

地域価値創造事業

大学や企業など多様な主体との協働により、本町の地域資源を活用したビジネス創出や企業研修の受け入れ、都市部の社会人や家族を対象としたワーケーションの体制構築に取り組むこととし、「大学や企業と協働した地域価値創造プロジェクト事業」として、国の「地域未来交

付金」の交付決定を受けたことから、その実施に要する費用を追加しました。

デイサービス利用者の支援

本町でデイサービス事業を行っていた事業者の事業廃止を受け、これまで当該事業所のデイサービス事業を利用していたかたについて、飯豊町の事業所での利用が可能となったことから、本町からの利用者の送迎に要する経費を追加しました。

アスモの土地建物取得に伴う

不動産鑑定評価の実施

現在、破産手続中の協同組合小国ショッピングセンターが所有していたアスモの土地・建物の不動産、及び小国いきいき街づくり公社が所有する土地を町が取得し、「日常の食品や生活雑貨などの暮らしを支える機能」、「屋内の遊びの広場など地域の人が集える機能」、そし

て「特産品や農産物販売所など、地域の生きがいを応援する機能」を兼ね備えた、新しいアスモの姿を構築、また再利用を図っていくこととし、取得にあたっての適正な価格を算出するため、不動産鑑定評価に要する所要額を追加しました。

小国税条例の一部を

改正しました

国の地方税法等の一部が改正されたことに伴い、本町の税条例について所要の改正を行いました。

公的年金受給者における扶養

親族等申告書の提出義務の見直しがなされたことから、個人住民税の手続きの見直しを行いました。

固定資産税について、物価変

動などの現状を踏まえ、同一市町村内に所有する資産の課税標準額の合計が、一定額未達となる場合に免除される免税点につ

いて、家屋は20万円から30万円に、償却資産は150万円から180万円にそれぞれ引き上げを行いました。

また、国の法改正に合わせて、いわゆる仮想通貨などの「特定暗号資産取引」の課税について、これまでの総合課税から申告分離課税に見直しました。

小国町国民健康保険条例の

一部を改正しました

国の地方税法施行令の改正に伴い、中間所得層の負担軽減等の観点から、国民健康保険税の課税額の上限を、基礎課税額については66万円から67万円に引き上げるとともに、本年4月より新設された「子ども・子育て支援納付金」の課税額の上限額を3万円に設定しました。

また、国民健康保険税における軽減基準について、軽減対象者の拡大を行うこととしました。

重度心身障がい（児）者・ひとり親家庭等医療制度について

重度心身障がい（児）者医療給付制度・ひとり親家庭等医療給付制度は、**下記の対象者のかたに対し、保険診療による医療費自己負担額の全額または一部を助成する制度です。**

■対象者

▶重度心身障がい（児）者医療給付制度

住民税所得割の額が23万5千円未満のかたで、身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳Aをお持ちのかた、または国民年金及び公的年金各法の障害等級1級の障害基礎年金を受給しているかたなど。

▶ひとり親家庭等医療給付制度

所得税非課税世帯で母子家庭・父子家庭等世帯の親と18歳以下の児童、両親のいない18歳以下の児童

※新規の申請受付は随時行っています。 具体的な要件等についてはお問い合わせください。

※現在医療証をお持ちのかたには、6月下旬頃に更新のご案内を送付しますので、更新手続きを行ってください。

■問合先 町民課国保医療担当（☎62-2260）へ

後期高齢者医療制度の保険料率が変わります

後期高齢者医療制度の保険料率は、医療費などの推計をもとに、2年ごとに見直しを行っております。

今回の改正につきましては、社会全体で子どもや子育てを応援する仕組みとして、子ども・子育て支援金制度が施行されることにより、後期高齢者医療保険制度（医療分）とは別に子ども・子育て支援納付金分（子ども分）の保険料が創設されております。子ども分は令和10年度にかけて段階的に構築されるため、令和9年度と令和10年度にあらためて見直しを行う予定です。

改定される保険料率及び保険料の賦課限度額は次のとおりです。

■医療分の保険料率（令和6・7年度 → 令和8・9年度）

○所得割率（所得に応じて負担いただく分を算定する際の率）：9.43% → 9.63%

○均等割額（加入者が公平に負担していただく分）：4万7600円 → 5万2500円

■医療分の賦課限度額（令和8・9年度）

80万円 → 85万円

■子ども分の保険料率（令和8年度）

○所得割率：0.25% ○均等割額：1,373円

■子ども分の賦課限度額（令和8年度）

2.1万円

■その他 制度改正の内容や保険料率等の詳細は、7月に保険料額決定通知書に同封するリーフレットをご覧ください。

■問合先 税務課課税担当（☎62-2403）へ

令和8年度県介護支援専門員実務研修受講試験のご案内

■対象 保健、医療、福祉の分野で5年以上かつ900日以上の実務経験があるかた

■受験料 11,700円

■試験会場 山形市内（詳細の住所等は受験票に記載されています）

■試験日 10月11日(日) 10時～

■申込期間 6月1日(月)～30日(火)

■受験の手引き 6月1日(月)から、郵送または県福祉人材センターの窓口で配布します。

■その他 町で本研修受講試験にかかる費用を助成します。詳しくは町ホームページをご確認ください。

■問合先 山形県社会福祉協議会人材研修部人材係（☎023-622-2776）

又は健康福祉課長寿介護担当（☎61-1000）へ

奨学金の貸与を受けている若者を支援します

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため、山形県と連携して、奨学金の貸与を受けている大学生や奨学金の貸与を受けていたUターン者に対し、奨学金の返還支援事業を実施します。

【やまがた若者定着枠】

■募集人員 県全体で230人

■対象者 次の項目を全て満たすかた

- ①県内の高等学校等を卒業し、国内の大学等に在学中のかた、または県内の大学等に在学中のかた（ともに令和7年度以前に入学されたかたも対象です）
- ②日本学生支援機構の第一種または第二種奨学金の貸与を受けているかた
- ③卒業後、県内に事業所を有する法人、団体および個人事業主への就業を希望するかた、または県内で創業を希望するかた（公務員は対象外です）

■助成内容

2万6千円×令和8年4月以降の奨学金貸与月数

※大学等を卒業後、13か月以内に町内に居住して県内企業に就業し、通算して3年間就業した場合に、最大で124万8千円の助成が受けられます。その他諸条件がありますので、お問い合わせください。

■応募期間 6月30日(火)まで

【Uターン促進枠】

■募集人員 県全体で40人

■対象者 次の項目を全て満たすかた

- ①県内の高等学校等を卒業し、国内の大学等を卒業したかた、または県内の大学等を卒業したかた
- ②大学等に在学中に日本学生支援機構の第一種または第二種奨学金の貸与を受けており、返還残額があるかた
- ③令和8年度末において40歳以下のかた（誕生日が昭和61年4月2日以降のかた）
- ④大学等卒業後、県外において就業の実績があるかた
- ⑤申請時点で県外に居住しており、かつ県内で就業していないかた
- ⑥県内に事業所を有する法人、団体および個人事業主への就業を希望するかた、または県内で創業を希望するかた（公務員は対象外です）
- ⑦申請日以降、令和9年10月31日までに山形県内に居住し、5年間以上継続して居住する見込みのかた
- ⑧申請日以降、令和9年10月31日までに山形県内で新規就業または創業し、5年間以上継続して就業する見込みのかた
- ⑨他の奨学金返還支援制度を受ける予定がないかた

■助成内容

県内への居住・就業を開始した時点の奨学金の返還残額（上限60万円）

※その他諸条件がありますので、お問い合わせください。

■応募期間 8月31日(月)まで

■応募・問合せ先 総務企画課政策企画担当（☎62-2264）へ

狩猟免許試験及び狩猟免許取得希望者講習会のご案内

狩猟免許試験の受験に向けて、狩猟関係法令、鳥獣判別、銃・わな・網の取扱い実技を講習します。

<狩猟免許試験について>

■期 日 8月22日(土)

■会 場 置賜総合支庁（本庁舎）

■受付期間 7月6日(月)から7月21日(火)まで

■問 合 先 山形県環境エネルギー部みどり自然課
鳥獣被害対策室（☎023-630-3404）へ

<狩猟免許取得希望者講習会について>

■期 日 7月4日(土)

■会 場 赤湯公民館（えくぼプラザ）

■受講料 7,000円（テキスト代を含む）

■受付期限 6月24日(水)

■問 合 先 （一社）山形県猟友会（☎023-665-0382）へ

林業機械操作技術研修会のご案内

町内の森林整備促進と林業従事者の機械操作技術の向上を図るため「やまがた緑環境税」を活用し、刈り払い機の研修会を開催します。

■期 日 6月23日(火)

■会 場 宮の森会館

■対 象 者 町内に住所がある18歳以上のかた、または町内の職場に勤務しているかた

■定 員 28人

■受講料 テキスト代 4,000円

■申込期限 6月15日(月)まで

■そ の 他 受講者には「労働安全衛生教育修了証」を交付します。

■問 合 先 小国町森林組合（☎62-2229）へ

お知らせ

町営住宅入居者募集

①小坂町団地

3DK 3戸

(3階、4階)

②あけぼの団地

3DK 1戸(3階)

◎対象 世帯状況に応じた所得制限あり

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 6月10日(水)

◎入居時期 7月上旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当 (☎62-2431)へ

河川の伐採木を無償で提供します

県では、河川の伐採木を無償提供します。詳細は西置賜河川砂防課ホームページをご覧ください。なお、営利目的や他人への転売を目的とするかたへの提供はできません。

■日時 6月26日(金)～28日(日) 9時～16時 ※提供物がなくなり次第終了

■場所 飯豊町添川地内

■対象者

自ら積込み運搬できるかた

■申込方法 ホームページから申込書をダウンロードし記入のうえ、当日ご持参ください。

■申込・問合先 置賜総合支庁西置賜建設砂防課 (☎88-8233)へ

【随時募集】
小国町会計年度任用職員募集

■職種 福祉職(介護士)

■期間 任用の日々令和9年3月31日(水)

■提出書類 申込書

■申込書配布場所

役場・健康管理センター等で配布、町ホームページからダウンロード

■受付期間 募集人数に達するまで毎月15日×2回

■選考方法 書類選考及び面接試験(申込者に連絡)

■問合先 総務企画課行政管理担当 (☎62-2112)へ

第1回置賜地区家庭教育支援フォーラムを開催します

県では家庭教育支援に関する実践事例等を通して家庭教育の支援に関わるかたの資質向上と連携を図る研修を行います。

■日時

6月25日(火) 13時50分～16時

■会場 置賜総合支庁西置賜地域振興局 講堂

■内容

○講演「子どもを性被害から守るために『心の防災』」

○トークセッション「子育てお悩み相談」

■講師 片山枝美氏(こころの枝@とまり木)代表・元警察官)・小野卓也氏(家庭教育アドバイザー)・小松ひろみ氏(家庭教育アドバイザー)

■申込先 置賜教育事務所社会教育課 (☎0238-88-8242)へ

置賜総合支庁職員出前講座

「県政ナビ」

くらしや健康、環境問題など、身近な話題から県が重点的に取り組んでいる各種施策まで、県置賜総合支庁の職員が直接皆さんの集いや学習室にうかがいご説明します。

■対象

地域の皆さまが参加する集会 ※営利目的や政治・宗教に関する集会などは対象外となります。

外となります。

■所要時間 45分～1時間30分

■申込方法 置賜総合支庁のホームページから一覧表を確認し、希望する講座を選んで希望日の3週間前までに申込書を提出

■問合先 置賜総合支庁各課または総務課(代表 ☎0238-26-6000)まで

地域活動支援センターみらいふれあいホームパーティーのご案内

ふれあいホームパーティーは、障がいを持っているかたの社会参加や健康増進を目的としたもので、年に3回開催しています。今回第1回目はソフトボール大会を開催します。

■日時

6月17日(水) 13時15分～15時

■場所 多目的屋内運動場あいべ

■対象者 障がいをお持ちのかたとそのご家族

■持ち物 タオル・内履き

■その他 当日は運動できる服装でお越しください。

■問合・申込先 NPO法人まんなまる地域活動支援センターみらい (☎62-3414)へ

新施設の正式名称と愛称が

「白い森おぐに総合文化センター 六花^{りっか}」に決定しました

このたび、本年秋オープン予定である（仮称）小国町次期総合センターの正式名称と愛称について、公募の結果「白い森おぐに総合文化センター 六花^{りっか}」に決定しました。

■公募状況及び選定結果

愛称募集にお寄せいただいた79作品について選考委員会で検討した結果、2人のかたから提案いただいた「六花^{りっか}」という愛称を採用することとなりました。雪の結晶という意味と、優しく親しみやすい点を理由にご提案いただいたものとなります。

なお、施設の正式名称についても、「白い森おぐに総合文化センター」と決まりましたので、今後は、「白い森おぐに総合文化センター 六花^{りっか}」と表記することとなります。

○名称と愛称 白い森おぐに総合文化センター 六花^{りっか}

○提案者 勝見 裕和さん（あけぼの）

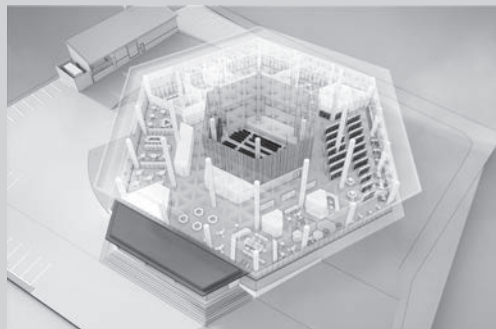
遠藤 凧咲さん（埼玉県）

■『六花^{りっか}』の意味

- ・六角形の形を花に見立てた雪の結晶の意味であり、施設形状からイメージしたもの
- ・響きがかわいらしく親しみやすい
- ・設計コンセプトにおいても、①のこす、②まもる、③あそぶ、④いかす、⑤つなぐ ⑥つたえるという6つの機能が示されているため



▲5月11日には提案者の勝見さんに記念品贈呈が行われました。



▲六角形の施設形状（完成イメージ）

春の叙勲 山口誠一氏が瑞宝単光章を受章

山口誠一氏（樋ノ沢）が、本年春の叙勲において瑞宝単光章を受章されました。

山口氏は昭和61年に小国町消防団団員を拝命以来、分団長、副団長の役職を歴任し、令和4年4月からは団長として消防団全体の活性化と近代的な組織づくりに力を尽くされました。特に、令和4年8月に発生した豪雨災害においては、団長として迅速かつ確かな活動を指示し、被害を最小限にとどめるなど、地域の安全を最前線で守る消防団の役割を果たした功績が認められ、今回の受章に至りました。



保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■3・4か月児健診

- ・期 日 7月3日(金)
- ・受付時間 13:00～13:20
- ・対 象 R8年2月、3月生まれ

■9・10か月児健診

- ・期 日 7月3日(金)
- ・受付時間 13:00～13:20
- ・対 象 R7年8月、9月生まれ

■1歳6か月児健診

- ・期 日 7月3日(金)
- ・受付時間 12:30～13:00
- ・対 象 R6年9月～R7年1月生まれ

■2歳児歯科健診

- ・期 日 6月17日(水)
- ・受付時間 13:00～13:15
- ・対 象 R5年9月～12月

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター ☎ 61-1000) へ

今月の納税 2026.6

6月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●6月26日(金)

水道料、下水道料、簡易水道料

●6月30日(火)

町県民税、介護保険料、住宅使用料、児童福祉使用料

■問合先

税務課税政管理室 ☎ 62-2403) へ

子育て支援センターから

■6月の広場日程

	曜日・日時	時間	申込
あそびの広場	6/13(土) 6/27(土)	9:00～11:30・13:00～16:00 場所:健康管理センター	不要
なかよし広場	月～金	9:00～11:30・13:00～16:00 場所:アスモ内または健康管理センター	不要
子育て講座	セルフマッサージ	6/16(水)10:00～11:30・健康管理センター	要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合先 子育て支援センター ☎ 090-9015-8330) へ

求 人 情 報

町ホームページにおいて、小国町をおもな就業先としている求人情報を毎週火曜日に更新しています。下記の二次元コードよりご覧ください。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井 ☎ 84-8609) へお問い合わせください。



◀ホームページはこちらから

入札結果情報（令和8年4月21日～令和8年5月20日実施）

単位(円)

入札日	工事・事業名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R8.5.7	令和8年度 町道館貝少線路線測量業務委託	貝少地内	R8.6.12	4,140,000	㈱小国測量設計事務所	2,770,000
R8.5.7	令和8年度 消防車両購入	岩井沢地内	R9.3.15	7,258,860	㈱長谷川ポンプ製作所	7,108,860
R8.5.15	令和8年度 除雪機械購入(2.2m級)	小国小坂町地内	R9.3.31	67,492,200	昭建機(株)	56,108,700
R8.5.15	令和8年度 除雪機械購入(1.5m級)	小国小坂町地内	R9.3.31	39,189,300	昭建機(株)	37,168,700

入札結果情報（令和7年4月18日～令和7年6月20日実施）※訂正

	入札日	工事・事業名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
正	R7.5.19	令和7年度 除雪機械購入(2.2m級)	小国小坂町地内	R8.3.31	64,373,700	昭建機(株)	53,368,700
誤	R7.5.19	令和7年度 除雪機械購入(2.2m級)	小国小坂町地内	R8.3.31	70,810,200	昭建機(株)	58,704,700

	入札日	工事・事業名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
正	R7.5.19	令和7年度 除雪機械購入(1.5m級)	小国小坂町地内	R8.3.31	35,826,700	昭建機(株)	33,608,700
誤	R7.5.19	令和7年度 除雪機械購入(1.5m級)	小国小坂町地内	R8.3.31	39,408,500	昭建機(株)	39,968,700

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



- 小国町役場 代表(総務企画課) ☎ 62-2111 (代) fax62-5464
- 企画財政室/次期総合センター建設推進室 ☎ 62-2264
- 会計室 ☎ 62-2406
- 行政管理室 ☎ 62-2112
- 白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
- 農林振興室 ☎ 62-2408
- 観光交流推進室 ☎ 62-2416
- 町民生活担当/危機管理担当 ☎ 62-2261
- 税政管理室 ☎ 62-2403
- 住民窓口室 ☎ 62-2420
- 建設技術室 ☎ 62-2432
- 議会事務局 ☎ 62-2448
- 建設管理室 ☎ 62-2431

戸籍のまど

(4 月 届 出 分)

おくやみ申し上げます。

幸 町 山 口 英 雄	(60)
小国小坂町 今 光 子	(90)
金 目 齋 藤 田 鶴 子	(83)
荒 沢 山 崎 ミ ヨ	(90)
泉 岡 佐 藤 國 武	(69)
若 山 舟 山 熊 男	(87)
越 中 里 木 村 美 佐 雄	(76)
小国小坂町 小 関 一 郎	(92)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (令和8年4月30日現在)

人口 男	3,119 人 (+ 3)
女	3,049 人 (+ 6)
計	6,168 人 (+ 9)
世帯数	2,827 世帯 (+ 31)

編集後記 春も一気に進み、山菜や新緑が山を賑わせる時期となりました。裏表紙で紹介した若山ワラビ園がある若山地区は私の地元であり、あらためて空からワラビ園や集落を見渡してみると少し不思議な気持ちになりました。雪解け水が山を潤し、山の幸を育み、その恵みを美味しくいただけることに感謝したいですね。同時に私はその恵みである山菜を、毎日夜明けとともに採りに行き、食卓に運んでくれる家族にも感謝したいと思います。(舟山)

6月の おぐにスポーツイベント 「運動で健康サプリ」



- 日 時 6月20日(土) 10:00 ~ 11:00
 - 場 所 小国町民総合体育館
 - 内 容 「体を整えるストレッチポール③」
 - 参加費 500 ~ 750 円
 - 持ち物 タオル・飲物
 - 定 員 23 人
 - 申込締切 6月17日(水)
- ※ストレッチポールは無料でお貸しします。

■申込・問合先
(☎ 62-5808) へ



相 談

・行政相談

- 日 時 7月4日(土) 13:00 ~ 15:00
- 場 所 役場2階 相談室
- 対応者 行政相談委員 林公子氏
- 問合先 町民課町民生活担当へ

6月10日(水)は児童手当の支給日です

6月10日(水)は児童手当の支給日です。指定された請求者名義の口座に振り込みますのでご確認ください。

児童手当は、年6回偶数月の10日に、前月までの2か月分を支給します。10日が土日祝日の場合はその直前の平日に支給します。

■問合先 健康福祉課福祉担当 (☎ 61-1000) へ

~訂正とおわび~

5月号7ページ、ぐるっと情報局「町内各小中学校入学式」の記事で、小国小学校6年生の児童代表挨拶としてご紹介したお名前の漢字を誤っておりました。

(誤) 島貫 莉心 さん → (正) 嶋貫 莉心 さん

訂正し、おわびいたします。

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.66



⑥ 最盛期を迎えた若山ワラビ園

若山ワラビ園は、町の観光ワラビ園のひとつとして毎年多くのかたが来場し、小国の春の風物詩であるワラビ採りを楽しんでいます。特に若山ワラビ園は、傾斜が比較的緩やかで、駐車場からの移動がほとんどなく山に登ることができる点が大きな特長です。

撮影日の5月17日は、オープン後2回目の日曜日の開園を迎え、朝早くから県内外のナンバーの車が駐車場に並び、開園時間である午前7時になると、来園者は一斉に山へと足を進めながら思い思いにワラビを採っている様子がみられました。

若山ワラビ園の本年度の開園期間は6月14日(水)までの毎週日曜日及び水曜日となっています。その他のワラビ園を含め、詳細は町観光協会ホームページをご確認ください。